

【災害に強いまち】地域のマイクログリッド化

総合戦略の主な施策：広域的な地域連携が進む安心して暮らせるまちづくり

寄附募集額 15,632千円

背景

長万部町は胆振東部地震による北海道全体のブラックアウトや水柱噴出による水害等、昨今災害に直面しました。この経験も踏まえて、災害対策も含めた脱炭素・地球温暖化の問題に地域レベルで貢献するため、2023年度には「ゼロカーボンシティ長万部」を宣言し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すべく、町の拠点となる各公共施設にて、再エネ設備を導入し、脱炭素化を図ることはもちろん、エネルギーの地産地消に向けて、連携線を用いたマイクログリッド化の検討も行っていきます。

これから長万部町に関わり、協力をいただける企業とのパートナーシップ構築することで、防災・再エネ導入などによる脱炭素化や経済の活性化を図り、地域の課題解決と脱炭素社会の同時実現を進めます。

地域課題

- ・防災(停電)対策、分散電源化
- ・温室効果ガスの削減
- ・地域経済循環の拡大

事業目的

- 防災拠点となる役場庁舎、学習文化センターに太陽光設備・蓄電池を設置
- EV(移動蓄電池としても想定)の導入
- EVステーションの設置検討
- 地域マイクログリッドによるレジリエンス強化の検討
- 公共施設のLED化

企業側のメリット

- ✓ 北海道長万部町と連携した地域・社会貢献事業への参画(実質負担10%)
- ✓ 北海道長万部町との共創パートナーシップの構築
- ✓ 企業名告知(PR)の実施
- ✓ 企業様と北海道長万部町が相互の発展に寄与する連携事業への展開
- ✓ 北海道長万部町長との対談



【北海道長万部町へのアクセス】

- ◇新千歳空港からJRで約2時間
- ◇函館空港から車で約2時間
- ◇札幌市から車で約2時間40分
- ◆北海道新幹線札幌延伸後は札幌～長万部間約39分を予定。東京からは約4時間を目指しています。



導入したEV